



新年度のご挨拶

校長 田邊 勝彦

昨年度より、本校でお世話になっています。

校長の 田邊 勝彦（たなべ かつひこ）と申します。

私は、2年前まで2年間、この学校で教頭としてお世話になっておりましたので本校4年目となります。今年も引き続き、この思い出深い県立のじぎく特別支援学校に務めさせていただくことを、心より嬉しく思っております。

本校は、昭和33年12月に兵庫県立整肢施設のじぎく園内に兵庫県立上野ヶ原養護学校のじぎく分校として開校しました。以来、「自立」の校訓のもと、子どもたちが自分のもっている力を発揮し、のびのびと力強く成長できることを目指して取り組んできました。今年で創立66周年を迎える歴史と伝統のある学校です。その間、数多くの卒業生を送り出してきました。

個々の目標に向かってできることを伸ばし、周囲の人と助け合いながら成長することが、校訓にある「自立」の意味です。

子どもたちはそれぞれに学ぶ内容、学び方、学ぶスピードが違います。本校の良さは一人ひとりに応じた教育活動を行うことにあります。多くの人との関わりの中で、自分のことを知り、自分の可能性を発見できるチャンスがたくさんある学校です。

年数の違いこそありますが、これから社会へ巣立つ子どもたちには、自分の課題に挑戦し、できることを少しでも増やしてほしいのと同時に、できるだけ多くの人と関わり、コミュニケーション力をつけてほしいと思います。コミュニケーションとは口に出したり字で書いたりする言葉によるものだけに限りません。自分の表現で自分らしく他の人に発信しつながることです。そのためには、人間関係を築き、相手に対する信頼関係を作ることが大切です。その結果、子どもたちは自ら今やるべきことを発見し、主体的に学びを始め、深めていくのです。その毎日の積み重ねが、将来の自立や自己実現につながると考えています。

子どもたちが主体的に学び、自立し、自己実現できるよう職員一同、全力で取り組んで参ります。

本校教育へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。